

「写楽の伝言展」 開催概要について

写楽はだれか？ と共に写楽は何だったのか？

21 世紀に生きる我々にとって、写楽は今なお、謎の多い存在です。

それら謎の解明には、これまで蔦屋重三郎・工房や喜多川歌麿、葛飾北齋、山東京傳、十返舎一九の諸説も、大変、興味深いものです。

かつて明治時代末、1910 年ドイツのクルト博士の「SHARAKU」の研究図録ほか、世界に紹介された内外の写楽研究書、図録なども合わせて展示します。

今回の「写楽の伝言展」では、名前の通り、楽しく解り易く、写楽という存在を見る、知る、作る、学ぶ、描く、改めて多くの皆様と共に、写楽のプロセス類推を体験するための場を作りました。

写楽とは何？ ミニミニ講演会

題目は未定ですが、7 月 8 日（火）、7 月 9 日（水）、7 月 10 日（木）3 日間、18:30- 20:00 Q and A

写楽と遊び、学ぶ＜ワークショップ＞

模画（転写）、ぬり絵（彩色）、体験

7 月 7 日（月）～7 月 11 日（金） 時間は 14 時 19 時 一日、5-6 名予定。

展示日程 写楽の復刻版の大首（おおくび）絵ほか、版 10 枚、順 10 枚を展示します
2025 年 7 月 7 日（月）～7 月 12 日（土） 11:00- 20:00

初日および最終日 13:00 開場 -18:00、終了

主催：浮世絵サポーター 21（田中 昭 携帯 080-5588-5205）

展示イベント会場（公）ドイツ東洋文化研究協会

OAG オーアーゲー 1 階ホワイエ（玄関ホール）

東京都港区赤坂 7-5-56 電話 03-3582-7743

東京メトロ＜銀座線・半蔵門線＞青山1丁目駅4番出口より徒歩7分
都営地下鉄＜大江戸線＞青山1丁目駅4番出口より徒歩7分

